



758号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5 階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



2月21日(水) 第2回 検数労連23春闘交渉 スト権92%の賛成票で確立！全国団結への手ごたえを掴む！

【24春闘スト権 全国集約結果】

項目	賛成	反対	白紙・棄権	合計
1. 賃金引上げ	951	6	11	968
2. 労働時間短縮	942	13	13	968
3. 産別継続課題の履行	949	8	11	968
4. 全国港湾・地域港湾課題	947	10	11	968
5. 人員確保課題	952	5	11	968
6. 安全衛生問題	954	3	11	968
7. 自然災害対策	929	8	31	968
8. 港湾の軍事利用	899	34	35	968
9. 国民的諸課題	893	37	38	968

【24春闘スト権集約結果】
24春闘への団結と要求の前進に向け、2月1日～20日までの間で全国の組合員を対象にスト権投票を行いました。
2月20日に全国から集まったスト権を集約した結果、投票総数968票中、すべての項目で賛成票が92%を超え、左記のとおり高率でスト権を確立しました。



【次回交渉に向けて】
①両協会の収支状況、これまで継続的に行っている料金収受に向けた取り組みの経過や実績等。
②長時間労働対策について、長時間労働（月間80時間以上）の実態や、その改善策について。また、全国的な週休休暇取得状況等。

【第2回24春闘交渉】
2月21日(水) 第2回検数労連24春闘交渉を行い、組合は両協会に対しスト権集約の結果を公表。
『各項目で92%以上の賛成票で確立している。このことは、ほぼすべての組合員は24春闘での労働条件の改善や、時間外労働に依存しなくても生活していけるだけの賃金獲得に対する期待の表れである』と強調しました。
その後、両協会から24春闘の賃金引上げに関する対象人員や平均勤続、平均年齢などを明記した基礎資料を受けとり、今日までの港湾の情勢や検数に関わる課題などの情報交換を行った後に、両協会に対し、次回交渉で次の事を求めていることを主張しました。

③石炭火力発電廃止問題で地方港を中心に政府施策で石炭荷役が減少、あるいは廃止に向けた動きがある中で、両協会における検数作業の現状等。
【検数労連名古屋支部から24春闘報告】
2月12日(月)愛知国民春闘共同主催の『第45回トヨタ総行動』に検数労連名古屋支部の執行部が参加したとの報告が上がってきましたので紹介させていただきます。

【大企業は社会的責任を果たせ！2・12トヨタ総行動】
半世紀近い歴史を持つトヨタ総行動が2月12日、トヨタ本社前（豊田市）や名古屋市内で行われ、検数労連名古屋支部の参加者10人を含む全国から650人が集まりました。主催者あいさつで若井愛労連副議長は「この春闘で一番の課題は物価高騰を大幅に上回る賃上げだ。そのためには、トヨタのような大企業が社会的責任を果たし、下請企業に至るまでしっかりと賃上げできる土台を作っていくことだ」と参加者に向けて力強く主張しました。

各組織からのリレートークでは、検数労連名古屋支部の大塚書記長が「港湾で働く労働者が減り続けている。港湾の仕事はAIや自動化頼みでは出来ないことが多く、マンパワーが絶対的に欠かれない。24春闘での大幅賃上げで人員を確保し、港の安心・安全を守り抜こう」と強調しました。



その後、トヨタ総行動の参加者は「賃金上げろ！」「内部留保を社会に回せ！」との声を響かせながらトヨタ自動車名古屋オフィスに向けてデモ行進をしました。

次回交渉2月29日(木)10時～
第3回検数労連24春闘交渉
23年度収支予測・取扱貨物動向・長時間労働対策・週休消化及び消化対策・検数料金収受等々…。について説明を求めています。